

現場管理	安全衛生管理 ※現場内の安全衛生管理 ※仮設や機械類安全点検 ※事故の有無等を評価する			1	工事の規模と内容に応じた安全巡視、安全教育、安全点検等の安全活動を実施した。						
				2	工事箇所及びその周辺の地上及び地下の既設構造物、既設配管等に対して、支障をきたさないよう必要な措置を講じた。						
				3	過積載防止に努めた。						
				4	重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされた。						
				5	安全通路の確保、落下物の防止等の安全措置が的確になされた。						
				6	工事従事者のための休憩場所等の施設の確保に努めた。						
				7	現場における緊急措置、防火体制等が整備されていた。						
				8	危険物等の保管に関し関係法令を遵守した。						
				9	指定仮設を除く足場、栈橋等の仮設物は、関係法令等に基づき設置された。						
				10	火気の使用や溶接作業を行う際、必要な防火措置を講じた。						
				11	通行人や物件などに対する事故及び労災事故はなかった。						
				12							
				13							
				14							
		小計	小計	計				基本評価点	(a)		
					*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。						
		基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)÷対象項目数								(a+b)	
	加点理由					加点	(b)	細目評価点			
現場管理	現場の整理 ※場内の整理整頓、資機材の保管状況 環境・交通対策 ※周辺環境への配慮 ※安全施設の配慮や交通整理要員の配置			1	現場内が常に整理・整頓されていた。						
				2	作業終了後、後片付けや清掃を実施していた。						
				3	資機材を作業帯の外に不必要に放置していなかった。						
				4	作業後や休工日に現場やその周辺に資機材が置かれていなかった。						
				5	資機材の保管場所を確保していた。						
				6	指定された建設機械について、低騒音・低振動型及び排出ガス対策型建設機械を使用した。						
				7	積み降ろしで待機する車両のエンジン停止を徹底していた。						
				8	作業帯は現場責任者が常に確認し、適切に設置されていた。						
				9	歩行者誘導や建設機械の安全確認のため、専用の誘導員を配置していた。						
				10	工事看板、誘導用看板などは内容も配置も適切であった。						
				11	防塵対策等周辺環境に配慮していた。						
				12							
				小計	小計	計				基本評価点	(a)
							*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。				
		基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)÷対象項目数								(a+b)	
	加点理由					加点	(b)	細目評価点			
工程管理	工程計画の適正 ※工事全体を考慮した合理的な工程計画か 工程の調整 ※状況の変化に対する対応 工程の遵守 ※工程は適切に進行管理され遵守されたか			1	実施工程表は、工事全般にわたり綿密に立てられ、各工種と全体との整合が取れていた。						
				2	十分な事前調査を実施した上で立てられた計画であった。						
				3	周辺の道路状況や地先車両の出入りなどを考慮して計画されていた。						
				4	工程は工種をネットワーク化する等して計画されていた。						
				5	日々の作業量は、無理無く実施可能な量で計画されていた。						
				6	状況変化への対応が迅速に行われ、工程に大きな影響を与えなかった。						
				7	別契約の関連工事との工程調整を行い、現場作業の円滑な進捗に努めた。						
				8	作業時間の変更、休日等の施工を行う際は、事前に監督員と協議し承諾を得た。						
				9	近隣及び地先の要望や苦情に対応するための工程調整も行われた。						
				10	日々の作業は、概ね作業時間を遵守していた。						
				11	工事の規模、状況に応じた人員及び機械配置が行われ、施工に支障をきたさなかった。						
				12	定められた作業日程で工期内に完成した。						
				13	実施工程表の補足として、月間又は週間工程表を作成し、工程管理に努めた。						
				14	工程計画を着実に守り工事を完了した。						
		15	全体の作業計画は概ね予定に沿って進捗した。								
		16									
		17									
		小計	小計	計				基本評価点	(a)		
					*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。						
		基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)÷対象項目数								(a+b)	
	加点理由					加点	(b)	細目評価点			

施工管理	施工計画 ※計画の内容 ※施工手順 等を評価する			1	施工計画書は、設計図書、現場状況を的確に把握したものであった。						
				2	施工図は、仕上げ、他工種及び別契約の関連工事との納まり等について十分検討されたものであった。						
				3	施工計画書又は施工図の内容を変更する必要がある場合、監督員への報告及び必要な措置が講じられた。						
				4	施工区域の設定は、交通計画、環境等を考慮したものであった。						
				5	施工に適した機器材、機械等が使用された。						
				6	既存施設部分及び工事目的物の構造物の養生は適切であった。						
				7	設計図書の内容に関して疑義が生じた際、監督員と協議の上、施工がなされた。						
				8	施工図は、当該工事の施工前に提出された。						
				9	工事記録写真撮影計画書が事前に監督員へ提出された。						
				10	道路使用計画は、現場の道路事情や施工手順を十分に検討していた。						
				11	現場作業は、工種ごとに決められた手順で進められていた。						
				12							
				13							
		小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。				基本評価点	(a)	
	基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)÷対象項目数									(a+b)	
		加点理由							加点	(b)	細目評価点
	提出書類の整備 提出書類の整備 ※書類の提出と その内容 ※写真及び 施工データ ※記録の分析 と整理 等を評価する			1	工事の請負に関する書類の内容は、必要な項目が的確に記載されていた。						
				2	工事の請負に関する書類は、定められた期日までに提出された。						
				3	品質管理記録が適切に作成されていた。						
				4	不可視部分の写真記録が適切であった。						
			5	工事記録写真の撮影方法及び編集方法は適切であった。							
			6	材料等の搬入の証明となる資料の整理が適切に行われた。							
			7	出来形管理図又は管理表が適切にまとめられており容易に確認できた。							
			8	道路使用計画や施工計画書は、速やかに提出された。							
			9	計画書の内容は、概ね適切で手直し指示はあまり無かった。							
			10	写真の説明や配置の仕方に工夫があり、解り易くまとめられていた。							
			11	設備の総合的な機能確認及び記録の整理が適切に行われた。							
			12								
			13								
	小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。				基本評価点	(a)		
基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)÷対象項目数									(a+b)		
	加点理由							加点	(b)	細目評価点	
出来ばえ ※仕上がり状態 ※手直しの多少 ※材料の品質 ※試験の成績 等を評価する			1	施工の品質及び形状が適切で良好な施工であった。							
			2	材料等の保管に関し、その方法等が適切に行われていた。							
			3	標準仕様書、各種基準類に基づく管理基準値や許容範囲を満足した。							
			4	材料等の材質、仕上げの程度、色合い、調合等について監督員の承諾を受けた。							
			5	材料等の品質証明に伴う試験方法は、設計図書に定められたもの又は監督員の承諾を受けたものであった。							
			6	各種材料等の試験成績書が監督員に提出された。							
			7	出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で容易に確認できた。							
			8	きめ細やかな施工がなされ、取合いの納まりや端部まで仕上がり良好であった。							
			9	出来形の形状、寸法が設計値を満足していた。							
			10	技術検査(課内検査)で重大な手直しがなかった。							
			11	操作制御関係が所定の機能を有し、必要な安全装置・保護装置の機能が確認できた。							
			12	設備の総合性能が設計図書のとおり確保されていた。							
			13	完了検査で手直しはなかった。							
			14								
	小計	小計	計	*加点は1項目0.1とし最大3項目までとする。				基本評価点	(a)		
基本評価点算出方法=(概ね適正(0.70)×項目数+不備有(0.40)×項目数)÷対象項目数									(a+b)		
	加点理由							加点	(b)	細目評価点	